

# 子供へのお話参考例



## あいさつ

皆さんは朝起きれば「おはよう」、昼には「こんにちは」、夜は「こんばんは」、寝るときには「おやすみなさい」と挨拶をしていますか。

私たちは一日の間に、たくさんの人とたくさんの言葉を交わして生活しています。「あいさつ」は、人と人の心をつなぐ大切なきっかけであり、言葉の基本です。

ところで、良い匂いのする花には、蝶やみつばちがやってきて、花粉を受粉させたり、蜜を吸ったり、楽しくたすけあいをしていますね。

ところが<sup>はえ</sup>蠅はどうでしょう。蠅は臭くてきたないところから湧き、そして、私たちの食物などに群がっては、嫌われ、追い払われてしまいます。

人間も同じように、相手を思いやって温かい言葉をかけたり、やさしい言葉を使えば、多くの人が寄ってきてくれて、楽しくたすけあいができます。でも、相手の嫌がる言葉や、乱暴な言葉を使ったり、挨拶ひとつしないうでツンとしていたら、蠅のようにみんなから嫌われてしまいます。

心はそうでもないのに、言葉の使い方がへたなために、友達や周りの人々と仲良くできないのは、大変悲しいことです。

お言葉に「言葉一つが肝心。吐く息引く息一つの加減で内々治まる。」と教えられるように、まずは、「あいさつ」の実行を習慣づけ、そして、良い匂いが出る言葉、人の心を温かくする言葉を使うように努力しましょう。

